

令和4年度 第2回市川市博物館協議会

日 時 令和 5年 3月17日(金)
午後2時 ～ 午後4時
会 場 市立市川歴史博物館 2階講堂

会 議 次 第

1. 議 題

- (1) 報告事項
 - ・令和3年度 事業実施状況に対する外部評価
 - ・令和5年度 館別事業計画
- (2) 考古博物館企画展「遺伝子からみた古代のイヌ」見学
- (3) その他

令和3年度 事業実施状況に対する外部評価 (意見記入済)

評価基準 A：参加者数、内容、参加者満足度すべてに見込みを上回る成果を得ることができた。(目標の90%以上)
 B：ほぼ見込みどおりの結果を得た。(目標の80~75%程度)
 C：改善の余地があるものと考えられる。(目標の60%程度)
 D：今後の計画に際しては、実施を含めて検討する必要があると思われる。(目標の50%に満たない)
 -：コロナ禍で事業未実施のため、評価できず。

事業種別	館名	館別意見(概略)	館別自己評価	総合自己評価	外部意見等	外部評価
収集・保管及び調査研究	考古	調査や報告書作成、資料管理などを随時実施した。	B	B	総合外部評価Bとする。 ・自然博物館 スライドフィルムのデジタル化が進まなかったようだが、ゴール地点からみれば進まなかったかもしれないが、令和3年度のみ捉えると少しも進んでいた。	B
	歴史	収蔵資料の整理が進んだほか、図書の整理や研究会などへの参加も年間を通して実施した。	B			B
	自然	新規データの整理に追われ、スライドフィルムのデジタル化進まなかった。	C			B
展示	考古	通年開館したほか、企画展、小企画展、学校巡回展、展示解説などを開催した。	B	B	総合外部評価Aとする。 ・考古・歴史博物館 コロナ禍での制限のあるなか、できる範囲で企画展を行ったり、常設展示においても様々な工夫をして行っていた。 ・自然博物館 ホームページやSNSなどWeb上で展示情報を発信していた。	A
	歴史	常設展示の一部を入れ替えたり、昔のくらし展や季節展などを開催した。	B			A
	自然	感染拡大防止対策(閉館後の消毒、椅子の撤去、ハンズオンの中止など)を行い、コロナ前に近い形で開催できた。	B			A
市民向けの教育普及	考古	コロナ禍の市の方針に従い、事業はほとんど実施しなかった。	C	C	総合外部評価Bとする。 ・考古・歴史博物館 夏休みスタンプラリーの開催、ボランティア研修ではボランティアの育成に努め、事業開催に向けての準備を行っていた。 ・歴史博物館 市民向けの資料などの紹介をSNSで日々発信していた。 ・自然博物館 展示用に作成した普段見ることができない大町公園長田谷津の草木や哺乳類の様子動画などをYouTubeにアップし、Web上で疑似体験できる取り組みを行ったことは評価の対象とできる。	B
	歴史	コロナ禍の市の方針に従い、事業はほとんど実施しなかった。	C			B
	自然	コロナ禍の市の方針に従い、事業はほとんど実施しなかった。	-			B
学校関連の教育普及	考古	依頼が少なかったが、小学校へ出張する授業や縮小日程の館務実習など、コロナ禍に対応した指導を行った。	B	B	総合外部評価Bとする。 ・考古・歴史・自然博物館 3館ともコロナ禍で制限のあるなかでも、かなり積極的に実施されていた。	B
	歴史	依頼が少なかったが、内容を変更したり、コロナ禍に対応した指導を行った。	B			B
	自然	出前授業は市内の市立・私立小学校、幼稚園、大学から計19回依頼があった。	B			B
地域連携の教育普及	考古	友の会や外部からの依頼により、見学会や講演の講師として協力した。	A	B	総合外部評価Aとする。 ・歴史博物館 考古博物館同様、博物館友の会の展示や資料調査活動に多大なるご協力をいただき十分に評価できる。	A
	歴史	友の会の展示や資料調査、その他の活動に協力した。	B			A
	自然	公民館、市民団体等申込があれば対応する。	-			-
運営	考古	例年通り印刷物を製作し、行事予定や事業・研究実績などを周知した。	A	B	総合外部評価Aとする。 ・自然博物館 年報の製作及び発行が出来なかったが、全体の評価としてはB相当と考えられる。	A
	歴史	例年通り印刷物を製作し、行事予定や事業・研究実績などを周知した。	A			A
	自然	自然博物館年報の制作及び発行ができなかった。	C			B

令和5年度 考古博物館 事業計画

事業種別	事業名	予定日及び見込み数
収集・調査・保管及び研究	1. 収蔵資料の調査・整理及びデータベース化	1,000点/年
	2. 市内出土資料調査	年間を通して実施
	3. 博物館資料のパソコン管理（収蔵品・図書・住所ほか）	1,000件/年
	4. 各種研究会への参加、各地博物館の視察	随時
	5. 文化財担当関係調査	年間を通して実施
	6. 市史編纂関係調査（曾谷貝塚・下総国府）	年間を通して実施
	7. 曾谷貝塚総括報告書作成	年間を通して実施
展示	1. 常設展及び北国分駅構内展示	年間を通して実施
	2. ホール小展示「市川出土の縄文土器Ⅱ」（令和4年度館務実習展示）	～7/30(日)
	3. ホール小展示「直刀展（仮称）」（令和5年度館務実習展示）	8/11(金)～1年間
市民向けの教育普及	生涯学習拠点として市民の学びと体験を支える事業	
	1. 博物館講演会「国文学関係」 千葉大学兼岡理恵教授	10/7(土)
	2. 講演会「姥山貝塚の5体の人骨の謎に迫る」 新潟医療福祉大学共催	3/10(日)
	3. 市川歴史セミナー（全8回） 考古・歴史博物館学芸員	6/12(水)～、第2土曜日
	4. 考古博物館講座『日本霊異記』を読む	4/12(水)～、第2水曜日
	5. 考古博物館講座『続日本紀』を読む	4/26(水)～、第4水曜日
	6. 火おこし・縄文学習・組紐指導員の養成講座・活動支援	土・日曜日ほか
	7. 夏休みスタンプラリー	7・8月
	8. 博物館コンサート	8/26(土)
	9. 土器づくり（友の会共催）	11・12月
10. 縄文体験フェスティバル（第24回）	3/24(日)	
学校関連の教育普及	業 子どもの成長や学びを支える事業	
	◎学校関係	
	1. 学校巡回展「弥生土器」	9～12月
	2. 小学生向け縄文体験・出張授業	4～7月
	3. 中学生職場体験指導	申し込みにより実施
	4. 大学学芸員課程館務実習指導	8/1(火)～8/10(木)
	5. 千葉商科大学出張展示	年間を通して実施
6. 学生調べ学習指導	年間を通して実施	
◎教員関連		
1. 市立小中学校教員研修会	調整中	
地域連携の教育普及	イ 地域の文化やコミュニティをサポートする事業	
	1. 博物館友の会事業協力	依頼により実施
	2. 公民館講座（社会教育課）	依頼により実施
	3. 地域まつり（自治会等）	依頼により実施
	4. 市内公共施設出張展示（各所管課）	依頼により実施
	5. 市内公共施設出張展示ギャリートーク（各所管課）	依頼により実施
6. 外部依頼講座（他自治体及び市民団体）	依頼により実施	
運営	1. 令和3年度考古博物館館報（第51号）発行	3月、600部
	2. 「考古・歴史博物館だより」発行	季刊、4回/年
	3. 令和5年度考古・歴史博物館行事案内発行	4月
	4. 博物館協議会事務局事務	2回/年
	5. 考古・歴史博物館特設サイト制作業務	年間を通して実施
	6. 施設の維持管理	年間を通して実施
	7. 施設整備（休館）	2月上旬

令和5年度 歴史博物館 事業計画

事業種別	事業名	予定日及び見込み数	
収集・保管及び 調査研究	1. 収蔵資料の調査、整理	500点／年	
	2. 市内小学校所蔵資料調査	依頼により実施	
	3. 市内民俗行事調査	年間を通して実施	
	3. 博物館資料のパソコン管理（図書管理・住所管理）	500件／年	
	4. 各種研究会への参加、各地博物館の視察	随時	
	5. 文化財担当関係調査	年間を通して実施	
	6. 市史編纂関係調査（協力）	〃	
	7. 稲作調査（簡易な稲栽培）	〃	
展示	1. 常設展		
	2. 企画展「開館40周年記念 みなさまと歩んだ歴史博物館」	7/22（土）～9/10（日）	
	3. 企画展「発見・体験昔の暮らし」	11/3（金祝）～2/5（日）	
	4. 小企画展	年間を通して実施	
	5. 季節の展示等	年間を通して実施	
	6. 館務実習展	9/15（金）～12/28（木）	
市民向けの教育普及	生涯学習拠点として市民の 学びと体験を支える事業	1. 市川歴史セミナー	6月～2月 第2土曜日（全8回）
		2. 夏休み体験講座（昔の洗濯体験、和綴じのメモ帳作り）	7/30（日）、8/6（日）
		3. 夏休みスタンプラリー	7・8月
		4. ナイトミュージアム（コンサートを含む）	8/26（土）
		5. 見学会（市川駅から菅野駅）	10/21（土）
		6. 古文書講座（中近世）	3回／年（1月）
		7. 縄文体験フェスティバル（第24回）	3/26（日）
		8. 昔の遊び体験	年間を通して実施
		9. 体験学習指導員定例研修会	1回／1ヶ月（主に第4土曜日）
学校関連の教育普及	子どもの成長や学びを 支援する事業	◎学校関連	
		1. 学校巡回展、出前授業	申し込みにより実施
		2. 小学生向け体験学習指導	11～2月上旬
		3. 中学生職場体験指導	申し込みにより実施
		4. 大学学芸員課程館務実習指導	9/1（金）、9/8（金）～9/15（金）
		5. 学生調べ学習指導	年間を通して実施
◎教員関連			
	1. 市立小中学校教員研修会	調整中	
地域連携の教育普及	地域の文化やコミュニ ティをサポートする事業	1. 博物館友の会事業協力	依頼により実施
		2. 公民館講座（社会教育課）	〃
		3. 地域まつり（自治会等）	〃
		4. 市内公共施設出張展示（各所管課）	〃
		5. 市内公共施設出張展示ギャラリートーク（各所管課）	〃
		6. 外部依頼講座（他自治体及び市民団体）	〃
運営		1. 令和4年度歴史博物館館報発行	3月、600部
		2. 「考古・歴史博物館だより」発行	季刊、4回／年
		3. 令和5年度考古・歴史博物館行事案内発行	4月
		4. SNS等による情報発信	随時
		5. 博物館協議会事務局事務	2回／年
		6. 施設の維持管理	年間を通して実施
		7. 施設整備（休館）	2月上旬

令和5年度 自然博物館 事業計画

事業種別	事業名	予定日及び見込み数	
収集・調査・研究及び保管及び	1. 収蔵資料の調査・整理	随時 (ボランティアも含む)	
	2. 博物館資料の専用パソコン管理	随時	
	3. 各種研究会への参加、関連施設の視察	随時	
	4. トビハゼ調査	2回/年	
	5. ヒヌマイトトンボ調査	7月	
	6. 長田谷津各種調査	随時	
	7. 剥製制作委託	3月	
展示	1. 常設展 (市川の自然)	305日開館	
	2. 特別展示室の常時活用 (飼育展示など)	305日開館	
	3. ホール小展示 (飼育展示など)	305日開館	
	4. 自然観察園のみどころの掲示	毎月適宜	
市民向けの教育普及	生涯学習拠点として市民の学びと体験を支える事業	1. 長田谷津散策会	12回開催予定
		2. 長田谷津ボランティア 自然観察園環境整備	10回開催予定
学校関連の教育普及	子どもの成長や学びを支援する事業	◎学校関連	
		1. 出張授業	依頼により実施
		2. 小学生向け自然観察学習指導 (グリーンスクールも含む)	依頼により実施
		3. 中学生職場体験指導	依頼により実施
		4. 高校生向け自然観察学習指導	依頼により実施
		5. 大学学芸員課程館務実習指導	8/4(金)～8/15(水)
◎教員関連			
1. 市立小中学校教員研修会	依頼により実施		
地域連携の教育普及	地域の文化やコミュニティをサポートする事業	1. 公民館講座 (社会教育課)	依頼により実施
		2. ホタル観賞会期間の開館時間延長 (動植物園主催ホタル観賞会の実施に合わせておこなう)	7月下旬～8月上旬
		3. 外部依頼講座 (他自治体及び市民団体)	依頼により実施
運営		1. 令和4年度自然博物館年報 (No.34) 発行	500部 3月
		2. 「市川自然博物館だより」発行	1,500部/6回 (隔月)
		3. 施設の維持管理	毎日
		4. 飼育展示 生きもの管理	毎日
		5. ホームページの管理運営	随時

令和4年度 企画展開催概要

1. 名称 遺伝子からみた古代のイヌ
2. 期間 令和5年2月12日(日)～3月26日(日) 37日間
3. 会場 市立市川歴史博物館特別展示室(東側半分使用)
4. 主催 市立市川考古博物館 担当 学芸員(主任) 山路直充
5. 趣旨 昭和59年に発掘調査された須和田遺跡第6地点では、奈良時代(8世紀後半)のイヌ11体、ウシ2個体 ウマ3個体の骨が大穴(直径4.2m×深さ2.7mのすり鉢状)からまとまって出土した。この時期のイヌの骨がまとまって出土した事例は日本ではこの事例のみである。『市川市史』刊行にあたり、11体のうち5体のイヌと向台貝塚出土の縄文時代のイヌのDNAを抽出したところ、良好な状態で遺存し、ゲノム解析に耐えられことが判明した。

今回の企画展では、向台貝塚の縄文時代のイヌとともに、須和田遺跡の奈良時代のイヌのゲノム解析をおこない、遺伝子から捉えた縄文時代以降のイヌの種の変化、奈良時代の下総国府で飼育されていたイヌの実態に迫る。

奈良時代のイヌのゲノム解析は日本で初めての事例となるので、今回の企画展が全国的に取り上げられることは必定である。通常の博物館来館者とともに多くの愛犬家の来館が期待でき、予想以上の反響が期待できる。

6. 関連行事

講演会 ①日時 3月12日(日) 13:00～16:30

会場 グリーンスタジオ

講師 金沢大学 助教 覺張隆史先生

演題 遺伝子からみたイヌの歴史

講師 國學院大学 非常勤講師 山崎京美先生

演題 須和田遺跡のイヌが語るもの

定員 100名

ギャラリートーク 日時 2月12日(日)、3月5日(日)・19日(日)

各日 13:00～13:50

講師 市立市川考古博物館 学芸員 山路直充

令和5年度 市立市川歴史博物館企画展開催要項（案）

- 1 タイトル 開館40周年記念企画展「みなさまと歩んだ歴史博物館」
- 2 期間 令和5年7月22日（土）～9月10日（日）
- 3 会場 市立歴史博物館2階特別展示室（市川市堀之内2-27-1）
- 4 入場料 無料
- 5 主催 市立市川歴史博物館
〒272-0837 市川市堀之内2-27-1 TEL047-373-6351

6 展示趣旨

歴史博物館が開館してから40年が経ち、博物館周辺も外環自動車道が開通するなど、景観が急変し市民も次の世代へと世代交代が進んでいる。

今回の展示では、開館から現在までに開催した企画展の資料や収蔵資料を展示することにより、これまでの博物館活動を振り返る。そして、当館所蔵の資料の位置づけやその活用について紹介することにより、博物館と市民らの関係について改めて考える機会としたい。

7 展示構成

- | | |
|--------------------|-----------------------------|
| ①1980年代の企画展の主な展示資料 | 泥めんこ、笹屋うどん器、板碑、旅館志がらきの看板 |
| ②1990年代 | 〃 木象嵌職人の机、岡田酒造看板、日蓮遺文(複製) |
| ③2000年代 | 〃 御用留、空襲日誌、道標(行徳道)、市制施行関係文書 |
| ④2010・20年代 | 〃 村絵図(中山村等)、手児奈掛軸、水戸黄門仁徳録 |
| ⑤館所蔵の市指定文化財 | ワートル薬性論、狩野浄天骨壺 |
| ⑥新着収蔵資料 | 行徳河原出身の関取(鉄ヶ濱)の化粧まわし |
| ⑦館のあゆみ年表 | |

8 関連行事

ギャラリートーク

日時 第1回：7月23日（日）、8月20日（日）

毎回10：30～11：15

場所 市立市川歴史博物館2階特別展示室

講師 歴史博物館学芸員